

平成27年度 日本の伝統文化をつなぐ

日本の魅力を探る vol.11

日本の伝統をつないでこられた方のお話と実演は
内面の充実を求める生活のヒントにふれる機会
生活を愉しむ為の本当のおもしろさとは



7月20日(月)14時始

日本の伝統芸能解説と上演

お話と演奏 吉住小三代氏

能楽名人55世梅若六郎家の三女として生まれ、
江戸時代から続く、長唄吉住流故六代目吉住小三郎氏は夫。
生粋の「藝の家」に生まれた、小三代氏の魅力ある芸と人。



● 上演【船弁慶】 大物浦判官船出
三味線 吉住小三代 唄 吉住小真莉 他
語り 義経・静・知盛 市川櫻香

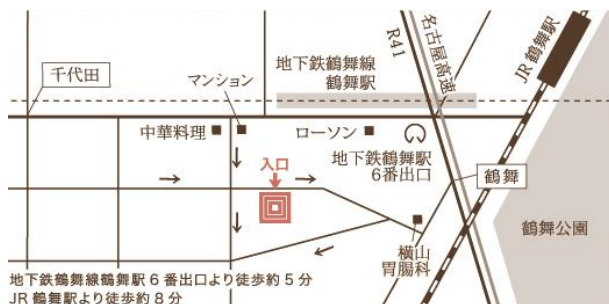
ご参加費 2,500 円

平家討滅の英雄として、源義経の声価は高まる。その華々しさが却ってあだとなり
兄頼朝の疑心を生む、遂には義経追討を発する。やむなく義経は、1185年(文治元年)
今からちょうど830年前の11月3日西国へ落ちのびるべく、摂津国大物浦から船に乗る
のですが、海上にでると間もなく突風に襲われる。能の「船弁慶」をそのまま長唄にしたもの
です。歌舞伎では、今から130年前九代目團十郎が初演し、新歌舞伎十八番に制定。
この度は、お三味線の聴きどころをお楽しみ頂けるよう新しく構成しました。

上、大物浦までの道行 中、義経の愛人静の祈りの舞
下、知盛の亡霊との対面

お話を交えての上演となります。

ご参加お申し込みは、「日本の伝統文化をつなぐ」まで
FAX 052(323)4575 又は ご郵送にて(中部邦楽教室)
〒460-0012 名古屋市中区千代田三丁目十番三号



会場 中部邦楽教室

主催

日本の伝統文化をつなぐ実行委員会

<事務局> mkabuki@docomo.ne.jp

<おすすめかぶき> 090-5639-3900

052-323-4499